

ペロリ！



第10号

あけましておめでとうございます。みなさん、冬休みは楽しく元気に過ごすことができましたか？おせちやお雑煮、お餅などを食べた人も多いかもしれませんね。また学校が始まりましたが、規則正しい生活ができていますか？毎日元気に過ごすためには「朝ごはん」が大切です。早寝早起きを心がけ、朝ごはんを食べて、元気に過ごせると良いですね！

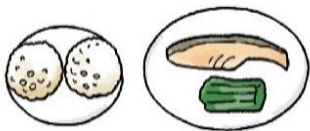
給食の歴史を知ろう

みなさんは、日本の給食がいつから始まったのか知っていますか？正解は、なんと今から137年も前の明治22年（1889年）です。山形県にある忠愛小学校というところで始まりましたが、その当時は学校にお弁当を持ってこれない児童のためのものでした。その後少しずつ全国へと広まりましたが、戦争で一時中断し、昭和22年（1947年）頃から徐々に再開していきました。このような給食の歴史を知り、給食について考える機会にしてほしいということで、1月24日から一週間を「全国学校給食週間」としています。

現在の給食は、おいしいだけでなく「生きた教材」として、望ましい食事の量、栄養バランス、食文化、地場産物などを知ることができるものとなっています。

給食が始まったころ

- ・おにぎり
- ・焼き魚
- ・漬け物



中断した給食が再開したころ

- ・脱脂粉乳
- ・トマトシチュー



現在

ご飯、パン、麺、和食、洋食、中華など、様々な料理を組み合わせ提供しています。



節分は、「節」を「分ける」と書く通り、季節の分け目の日です。昔から、季節の変わり目にはよくない事が起こると言われてきたため、家の中の悪いものを追い出すために豆まきを行ったり、鬼を寄せ付けなくするためにいわしの頭と 柊（はく）を玄関にかざったりする習慣があります。